



2017年(平成29年)
7月13日発行
発行者：県立加茂高校 PTA
編集：広報部

*6ページは定時制のページです。

◀生徒会スローガン



対面式



授業参観(PTA総会)



入学式

ボート部

全国高校選抜大会

優勝オメデトウ!!



ボート部



PTA役員紹介(PTA総会)

加茂高春秋

「夢中になれる事を」

皆さんは、夢中になれる何かを持っていますか？

私は、ソフトバレーが上手くなりたくて練習を始め15年になります。「何か運動がしたいー」から始まり、次第に「上達したいー」と気持ちに変化が生まれ今に至ります。

上手くならなくて落ち込むこともありますが、狙い通りに出来たときの喜びを感じ、楽しみながら週2回の2時間練習に参加しています。忙しい毎日ですが、一生懸命に夢中になれる事を持つだけで色々な事が楽しく感じられます。

部活動、勉強とやらなければいけない事がたくさんあると思います。でも、そんな中で一生懸命に打ち込める事や夢中になれる事を持つ事は、毎日の生活が色付き自分自身のモチベーションアップにも繋がると思います。毎日を楽しく過ごせるアイテムとして夢中になれる事を見つけてみませんか？

(副会長 森下 稔恵)

よりよいPTA活動を目標して

PTA会長 奥野 弘基



年度が變わって3か月余り、加茂高生の皆さんも勉強に部活動に励んでいる最中、充実した日々を送っている人もいれば、少し戸惑いや悩む事も出てきている頃ではないかと思ひます。

情報化社会が成熟期に入り、徐々に加速度を増す昨今、十年後には現在の職業の半分はコンピュータ技術や人工知能に取って代わられるとも言われています。私たち親世代はもちろん、数年後には社会に出る皆さんも近い未来について今以上に色々と考えなければいけない時期ではないかと思ひます。

加茂高の校是である「明朗進取・誠実努力・親愛奉仕」を今一度熟考してみますと加茂高は何十年も前から、学力向上だけでなく世情の荒波にも堪えうる人間力を育てる学校であると改めて気づかされます。失敗を恐れず新しい事に挑戦し地道にやり抜く、そして人を思い遣る気持ちを持つ。どんな時代であれ人として普通の真理を唱える素晴らしい校訓だと思います。私たちPTAもお子さん達に何をしてあげられるか、と言うよりお子さん達が自立するまでどんな支えになってあげられるかを日々模索しながら活動を行っております。特に加茂高祭・体育祭では、加茂高生の逞しく生き生きと活躍する姿を是非見ていただきたいと思います。他にも進路ガイダンスや講演会、各部活動の応援などを通じて、加茂高生により良い環境を整えてあげるべく、保護者の皆様や地域の皆様にも何卒ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

PTA役員紹介

会長 奥野 弘基
副会長 山口 直樹
副会長 森下 稔恵
副会長 百瀬 玉緒

副会長 日比野宅芳
会計 遠藤 一夫
会計 富田 勝也

一年学年委員長 梶田 達也
研修部長 井戸 伸
二年学年委員長 高木いづみ
広報部長 可児真由美

三年学年委員長 村雲 修
進路学習部長 岩井 麻里
役員選考委員長 後藤 文岳

加茂高の魅力

校長 平野 弘



昨年4月に校長として加茂高に赴任して以来、私はとても気持ちのよい毎日を過ごさせていただいています。それは生徒諸君が生き生きと学校生活を送っている姿を間近に見ることができからです。勉強に、部活動に、学校行事に、加茂高生は本当によくがんばります。笑顔いっぱいですがんばっています。その秘密は何なのでしょう？

それを探ろうと、加茂高の魅力を探ると、加茂高の魅力は、卒業した大学生、さらにはすでに社会人になった卒業生から聴き取りをして、私はひとつの結論に達しました。「高校は大学に入るための通過点とよく言われるけれど、高校時代の3年間は、決して通過点という一言では済ませられない貴重な時間だと思う。この時期にしかできない、味わえないことがたくさんある大切な時間だと思ふんです。加茂高では、勉強も、部活も、学校行事も、好きなだけ思いつきりできる。高校時代を満喫できる。そこが一番の魅力ですかね。」笑顔で語った卒業生のこの言葉こそ、加茂高の魅力を余すところなく表していると感じました。

自分達のやりたいことを、自分で考えて、自由と責任とのせめぎ合いの中、実現できるように努力する。そういう積み重ねを3年間することが、必ずと自信へと変わり、それが社会に出たときに、生きる力となるのでしょう。そういえば、同窓生のみなさんも生き生きと活躍されている方が実に大勢いらっしゃいます。加茂高の魅力をいかに伝えたいと改めて強く思ふ次第です。

加茂高校創立70周年記念



加茂高同窓会長 渡辺 隆晴

昭和23年に加茂農林高等学校から分離・独立し、加茂高等学校となつて来年(平成30年)で70周年となります。加茂高校は中濃地区で生まれ、愛され、この地方の伝統校として育ってきました。「明朗進取」「誠実努力」「親愛奉仕」の校訓の基、文武両道を掲げる校風は、決して派手さはありませんが内に秘めたる底力はどこにも負けないと思ひます。

この70周年を契機により一層発展、躍進を進め、魅力ある、元気な学校を目指し、この地域の活性化、発展の原動力となるよう推し進めたいと思ひます。

平成30年10月に70周年記念事業を行い、そのキックオフとしたいと考えております。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

詳細は加茂高同窓会ホームページをご覧ください。
[http://www.kamoko-dousoukai.com/]

担任学年主任等紹介

前列：正担任 後列：副担任 ○：学年主任



織部 茂実 (数学)
 降旗 一成 (美術)
 澤田あずさ (英語)
 横山也寸志 (国語)
 青井ゆり子 (家庭)
 河合 晃平 (数学)
 田中 美紀 (看護教諭)
 田之本麻衣子 七組 (国語)
 出川 尚之 六組 (地理公民)
 瓜田 裕哉 五組 (英語)
 酒井 宏昌 四組 (理科)
 門 有宏 三組 (数学)
 長屋 貴大 二組 (保健体育)
 後藤あやみ 一組 (英語)



成瀬 和康 (国語)
 矢崎 誠 (保健体育)
 青木 悠一 (数学)
 木村 京子 (英語)
 杉山 典孝 (保健体育)
 土井 崇仁 (地理公民)
 安田 善紀 (地理公民)
 山田 駿 (理科)
 渡辺 俊丈 八組 (数学)
 田中 里香 七組 (英語)
 吉川 敏幸 六組 (理科)
 中島 将仁 五組 (理科)
 安達 裕史 四組 (数学)
 岸 亜美 三組 (英語)
 柴田 佳祐 二組 (国語)
 可児奈緒美 一組 (地理公民)



大澤 慶和 (理科)
 吉田 智 (保健体育)
 市村 康晴 (物理)
 高木百合 (英語)
 山田 千鶴 (国語)
 鈴木 愛 (数学)
 桂川 金衛 (地理公民)
 大塚 志門 (地理公民)
 境田 昌寛 (数学)
 井上 悟郎 九組 (理科)
 津田 健介 八組 (数学)
 丸谷 利幸 七組 (理科)
 石井 清治 六組 (地理公民)
 金森 康一 五組 (保健体育)
 白井 靖彦 四組 (地理公民)
 鹿嶋 淳美 三組 (国語)
 佐藤 正樹 二組 (英語)
 羽中田亜沙 一組 (英語)



古田 文博 (保健体育)
 河田 雅幸 (理科 渉外部長)
 安江 清美 (看護教諭)
 林 実智 (理科 助手)
 小島 知己 (理科 助手)
 佐藤 知子 (係長)
 山田 幸正 (主査)
 山下 理恵子 (司書)
 小島 礼子 (理科 助手)
 田下 真穂 (業務専門職)
 渡辺 文義 (業務専門職)
 古田 文博 (保健体育)
 河田 雅幸 (理科 渉外部長)
 安江 清美 (看護教諭)
 林 実智 (理科 助手)
 小島 知己 (理科 助手)
 佐藤 知子 (係長)
 山田 幸正 (主査)
 山下 理恵子 (司書)
 小島 礼子 (理科 助手)
 田下 真穂 (業務専門職)
 渡辺 文義 (業務専門職)
 古田 文博 (保健体育)
 河田 雅幸 (理科 渉外部長)
 安江 清美 (看護教諭)
 林 実智 (理科 助手)
 小島 知己 (理科 助手)
 佐藤 知子 (係長)
 山田 幸正 (主査)
 山下 理恵子 (司書)
 小島 礼子 (理科 助手)
 田下 真穂 (業務専門職)
 渡辺 文義 (業務専門職)

Challenge

一年学年団

新たな生活が始まり、新たな仲間と共に将来の目標に切磋琢磨し、新たなことに挑戦してほしいと思います。
 加茂高校への入学、加茂高校での生活を目標とするのではなく、その先の自分の将来を見据えて、目標を掲げて高校生活を送ってください。
 正しい方法で正しく努力をすれば望む成果は手に入れられます。そのために何をすべきかを高校生活を通して学んでもらいたいと思います。

頂 点

二年学年団

2年生は、進路実現に向け、1年生よりも具体的な決定や準備をしていかなければいけません。将来どんな自分になりたいのかを想像しながら、自分の得意分野や長所を伸ばして欲しい、そしてその得意分野や長所を自分の中の「頂点」として理想とする将来の姿に近づぐために足りないものを補って欲しいとの思いから学年の目標としました。
 2年生は部活動や生徒会などで学校の中核になる学年です。学習だけでなく何事にも挑戦し、自分の力を大きく伸ばす一年にしてください。

チームワーク

三年学年団

2年次に見つけた「進路目標」を達成する時がやってきました。
 今、生徒には受験校や受験方式の研究、さらには必要な学力を身につけるための学習活動など、とても大きなストレスがかかっていると思います。受験は自分自身の力で乗り越えるものですが、家庭と学校が協力し、「チームワーク」をもって生徒を支えていきましょう。
 一年後、生徒たちが笑顔で巣立っていく姿を見るために。

部活動顧問一覧

部活名	顧問名	部活名	顧問名
陸上競技	杉山 典 吉川 生	吹奏楽	鈴木 澤田 青井
柔道	酒井 佐藤正	美術	降旗 田之本
剣道	長屋 瓜田	文芸	岸
弓道	井上 林 高木	演劇	横山 市村 [山内]
野球	土井 吉田 河合(中島)	書道	田中里 鹿嶋 [岩垂]
卓球	境田 杉山清 安江	自然科学	木澤 河田
バスケットボール	男 安田 青木(高野)	放送	可児
バレーボール	女 津田 五島	パソコン	石井
サッカー	男 出川 小島知	新聞	桂川
ラグビー	女 丸谷 門	囲碁・将棋	渡辺俊
テニス	男 金森 安達	手話	後藤 [武山]
ボート	女 矢崎 小林	コーラス	山田千 小島礼 [武藤]
ソフトボール	中島 成瀬 [赤塚]	茶華道(同好会)	木村 [高木久・櫻井]

[]: 講師

事務・担任以外の職員

小林竜一郎 (教務主任)
 生駒 伸一 (国語指導部長)
 杉山 清治 (数学教務部長)
 田村 高明 (教頭)
 平野 弘 (校長)
 奥村 正則 (事務部長)
 大矢 文哉 (係長)
 室賀 文哉 (主事)
 井戸 由美 (国語)



気持ちいい天候に恵まれて球技大会が行われました。
 広報として上手く写真が撮れるのか不安に感じながら、初めて球技大会の参観に行きました。どの競技も迫力あるプレーが沢山ありました。仲間に声援を送ったり、励まし合ったりする姿など素敵な場面をたくさん見ることができて、楽しい一日でした。
 次の体育祭や文化祭も皆さんの活躍を楽しみにしています。
 (広報委員 S・S)



大会

日(水)

■成績結果

	1 位	2 位	3 位
バレーボール (男子)	3-8	3-7	2-7B、3-1
(女子)	3-3A	2-2A	3-3B、3-2A
バスケットボール(男子)	2-6B	2-2	3-7、3-3
(女子)	2-5	3-6	1-6、1-2
ドッジボール (女子)	3-6	3-2	2-1A、3-9
サッカー (男子)	2-8	2-5	3-9、3-6





球技

5月17

絶好の球技大会日和。校外からすでに、生徒たちのパワフルで楽しそうな声がかんたててきました。

どの競技もとても迫力があり、若かりし頃を思い出して吸い込まれそうになりました。声のかけ合い、応援、点を取ったときの笑顔。どれを見ても自然と笑みがこぼれてしまい、青春を感じました。

高校生の輝く姿を間近で見る事ができ、貴重な経験となりました。ありがとうございました。

(広報委員 H・T)



挑戦

◎ 定時制のページです。

もう一つの加茂高校

副校長 亀山 弘

加茂高校は創立70周年を迎えようとしています。その設置当初より定時制の課程を持ち、時代や地域のニーズに応じて多くの卒業生を輩出してきました。働きながら学習できる定時制課程は時代とともに大きく変わってきていますが、加茂高校のもう一つの姿として今でも健在です。

加茂高校定時制は今年度30名の新入生を迎え、4年生までの生徒数が120名となり、年齢は15歳から60歳代までの生徒が在籍をしています。多くの生徒が昼間は正社員やアルバイト等で働きながら、夕方になると高校生として毎日笑顔で登校をしています。現在はブフジルやフィリピンなど外国籍の生徒がかなり増え、全校生徒の54%を占めています。そのため、生徒達の会話には、日本語・ポルトガル語・タガログ語・英語などが飛び交い、まさに多文化共生の学校となっています。日本人の若者が激減していく将来の日本社会にとって、外国籍の若者が日本を支えていく時代がやってきます。その時に日本人と外国籍の人々が、お互いの気持ちを理解し、円滑な交流を推進していく人材が重要な存在となっています。この定時制で学習している生徒達が、基礎的な学力



職員紹介

尾関 (2)	玉木 (教務主任)
杉山 (4)	平野 (校長)
田口 (1)	亀山 (副校長)
渡部 (進路指導主任)	熊澤 (1)
武藤 (生徒指導主任)	渡邊 (3)
若宮 (3)	今井 (教務・渉外)
高橋 (養護教諭)	

を身につけるとともに日本文化を理解し、日本人と外国籍の人々をつなぐ架け橋となり、人種の枠を越えて活躍してくれることを願っています。

地域の学習の場として長い間その役割を担ってきた加茂高校定時制ですが、新たな役割を付加しながら地域社会の人材育成に現在も貢献をしています。今後とも、保護者や地域の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

部活動

サッカー部

県大会(6月3日)
3チームによりリーグ戦
1試合目 ●0-7華陽F
2試合目 △0-0大垣工

後藤のぼる



僕たちサッカー部は全国大会出場を目指し、日々練習に励んできましたが、県大会では結果を残すことができず、悔しい思いをしました。

しかし、14人の仲間を支え合い、すぐに「秋季大会は絶対に(勝と)こ」と気持ちを持ち替えました。これからも前向きに部活に取り組み、チームワークを生かして強いチームにしていきたいです。

バドミントン部

県大会(6月3日)
男子S 1年 丹羽 3位
1回戦 ○1-0大垣商
2回戦 ○1-0岐阜工
3回戦 ○2-0清凌
4回戦 ●0-2大垣商
3位決定戦 ○2-0阿木
女子S 3年 千葉
1回戦 ●0-1大垣商

今回の大会には、男子1名、女子1名の合計2名が出場しました。

総合学習について

男子はシングルス3位という素晴らしい結果を残し、8月に行われる全国大会の団体戦メンバーに選ばれました。女子は残念ながら1回戦敗退となりましたが、さらに強くなるため、現在も練習を行っています。

これからも日々の練習を通して、肉体と精神の両方を強く鍛えていこうと思っています。



バスケットボール部

県大会(6月10日)
1回戦 ●38-42啓晴

アキノ ビクトル ネイル

僕たちバスケットボール部は、毎日練習を積み重ね、シユート力の向上やチームプレイのレベルアップに取り組んでいます。

県大会では練習の成果を発揮し、速攻での連続得点やディフェンスでの体を張ったりバウンドで相手を追い詰めたのですが、残念ながら1回戦で敗れてしまいました。この悔しさをバネにして、更に練習し、秋の大会では良い結果が出るよう、努力していきたいと思いをします。



本年度、パナソニック教育財団研究助成金、東京学芸大学齋藤ひろみ教授の監督で「週一単位の総合的な学習の時間で外国籍生徒が日常生活に不自由のない日本語運用能力を身につけるための方策についての研究」を行っています。JLPT2級以上を目指す検定コース、日本語ワークショップを開講しました。日本語ワークショップでは、可児市国際交流協会より日本語教師の資格を持つファシリテーターを派遣していただき、全11回の講座を開講、日本語によるプレゼンテーション活動に取り組む予定です。

また、外国籍生徒だけでなく全生徒を対象とした「校内プレゼンテーション大会」を企画しました。6月より「美濃加茂市のおすすめ観光スポット」について、リサーチ、企画立案、発表準備を行っています。12月14日に大会審査委員長に美濃加茂市長藤井浩人様を迎え、「第1回校内プレゼンテーション大会」を実施する予定です。



部活動報告



全国高校選抜ボート大会 優勝

全国高校総体 出場 ボート部

女子舵手付きクオドルプル (野中、西田、市田、瀧上、鈴木)

女子シングルスカル (西田)

女子舵手付きクオドルプル (野中、瀧上、市田、鈴木、日比野)

男子ダブルスカル (井野口、百瀬)

▼ボート部
全国高等学校選抜大会(3/20)
天竜ボート場
女子舵手付きクオドルプル 優勝
(野中、西田、市田、瀧上、鈴木)
日本立教 明治3大学レガッタ
男子シングルスカル (4/9)
5位
ダブルスカル 4位
女子舵手付きクオドルプル 6位
ダブルスカル 6位
岐阜レガッタ(4/29・30)
男子ダブルスカル(井野口・百瀬) 優勝
女子舵手付きクオドルプル 3位
ナショナルチーム合宿(福井県美浜町、フランス、エキユベレット湖、フランス、エキユベレット湖、西田結惟 参加)
フランスサボイエレガッタ
ダブルス(西田結惟)
18歳以下およびシニア部門1位
諏訪湖レガッタ(5/13・14)
男子舵手付きクオドルプル 6位
女子舵手付きクオドルプル 優勝
シングルスカル 5位
高校総体県予選(5/27・28)
女子シングルスカル(西田) 優勝
女子ダブルスカル(井野口、百瀬) 優勝
女子舵手付きクオドルプルA 優勝
(野中、瀧上、市田、鈴木、日比野)
男子ダブルスカルA(井野口、百瀬) 優勝
以上 全国総体・東海総体出場
女子舵手付きクオドルプル 3位
シングルスカル(馬淵) 3位
男子舵手付きクオドルプル 3位
女子舵手付きクオドルプルB 2位
以上 東海総体出場
女子総合優勝 男子総合2位
東海高校総体(6/18)
女子舵手付きクオドルプルA 優勝
(野中、瀧上、市田、鈴木、日比野)
男子ダブルスカルA (井野口、百瀬) 3位

▼陸上競技部
本校×郡上 0-0
ブルーリーグ2位
2位リーグ
本校×武義 5-0
本校×東濃実業 雷雨中止
2位リーグ 最上位地区4位
県大会出場
高校総体県予選(5/14)
1回戦 本校×岐阜高等 1-2
2回戦 本校×岐阜高等 1-2
県高校総体地区予選会(5/3・4)
男子110mH 永田 21秒55 6位
走高跳 中根 1m55 3位
女子100m 金子 13秒66 6位
200m 金子 28秒62 3位
300m 金子 28秒79 3位
走幅跳 中村 4m53 4位
やり投げ 前島 24m93 1位
以上 県大会出場権獲得
4×100mR(林、石黒、森、金子) 2位
53秒93
県高校総体(5/19・21)
男子110mH 永田 20秒55
走高跳 中根 13秒85
女子100m 金子 27秒53
200m 石黒 27秒53
準決勝進出
やり投げ 前島 28秒47
走幅跳 中村 4m53
4×100mR(石黒、北澤、森、金子) 出場
4×400mR(林、安藤、岩崎、高橋) 4分44秒15

▼バスケットボール部(男子)
生駒 プロック準優勝
宇根元 渡邊みプロック準決勝敗退
ダブルス
生駒・辻組、宇根元・渡邊み組
プロック優勝 県大会出場
長瀬・伊藤組 プロック準優勝
県高校総体
団体戦(5/6・13・14)
1回戦 本校×岐阜東 3-0
2回戦 本校×帝京可児 0-3
ベスト16
ダブルス
生駒・辻組、宇根元・渡邊み組
ベスト16
シングル
辻 ベスト32
▼バスケットボール部(女子)
県高校総体地区予選会(4/30・5/3)
1回戦 本校×東濃 103-47
準決勝 本校×加茂農林 71-69
決勝 本校×可児工業 61-72
地区2位で県大会出場
県高校総体(5/20)
1回戦 本校×大垣日大 55-92
▼バスケットボール部(男子)
県高校総体地区予選会
(4/30・5/1・3)
2回戦 本校×可児 63-60
準決勝 本校×美濃加茂 46-95
3位決定戦 本校×関商工 55-72
地区4位で県大会出場
県高校総体(5/20)
1回戦 本校×各務原 53-64

▼弓道部
2回戦 本校×岐阜商 0-2
女子個人Bトーナメント3位
県高校総体地区予選
シード校により免除
県高校総体(5/21)
1回戦 本校×大垣西 2-0
2回戦 本校×古城 0-2
県ベスト16
▼剣道部
県高校総体兼全国(東海)総体県予選
(5/20・27)
男子団体 本校×可児工 0-3
個人 岸 ベスト16
2回戦 池戸 ベスト32
川上 3回戦進出
林 2回戦進出
女子団体 本校×大垣東 2-2
2回戦 (一本の数により敗退)
個人 山口、宮崎 2回戦進出
▼卓球部
県高校総体地区予選会
中濃卓球選手権大会
(4/29・30・5/6)
団体 4位
男子 準優勝
女子 4位
個人
男子シングルス 木村、波多野 2名県大会出場
女子シングルス

▼美術部
岐阜県青少年美術展
絵画の部 入選 西田
立体の部 入選 若山
写真の部 入選 恒川
▼吹奏楽部
定期演奏会 可児市文化創造センター
(5/6)
▼コーラス部
ミソソング 東図書館(3/25)
▼新聞部
新みにかも 第3号 4月12日発行
「加茂高新聞」第19号
平成29年7月21日発行予定
▼囲碁・将棋部
全国高校将棋選手権岐阜県大会
(5/22)
男子個人 植田 決勝トーナメント進出
長谷川、井戸 予選敗退
女子個人 安江 予選敗退
▼ラグビー部
県高校総体兼東海総体県予選
(5/14・20)
加茂-その他合同B×可児工 66-15
" ×可児工 26-46
▼田舎・将棋部
県高校総体兼東海総体県予選
(5/14・20)
男子シングルス 2名1回戦敗退
女子シングルス 2名2回戦進出
ダブルス 3組2回戦進出

若い市民たちへ

進路指導部長

生駒 伸一

「世界はどこへ向かおうとしているのか」という話題が大人たちの間で交わされることが多くなりました。世界の情勢に敏感に反応するようになった方も多いのではないのでしょうか。国内においてもこれまでとは異なったタイプの法案がいくつも審議されています。成立したもののについては近い将来、現実の生活に影響してくることでしょう。考え方、感じ方は様々です。「改憲して軍隊を持つべき」という方もあれば、「治安維持法の次は国家総動員法だ。戦争許すまじ」という方もあります。ここで政策についての賛否を論ずるつもりはありません。我々は大人として過去の歴史を現実的に知っており、次の世代のために正しい選択をする義務と権利を行使するばかりです。それが民主主義ですから。

問題は「次の世代」です。実は今の高校生たちこそ「次の世代」なのです。選挙権が18歳に引き下げられ、その重みは大きく増しました。では私たちの生徒諸君は先ほどの話題に関わって来られるでしょうか。例えば生徒たちは先に挙げた言葉について、学校で習った机上の知識(テストに出題される単語)としては知っていても、それが意味するところについてきちんと理解し、本質的な議論に加われるでしょうか。次の世代の主役として、実際に自分たちの将来の生活を考えた上で判断してくれるでしょうか。



日本では教育を「義務」とし、プログラムを組み、長い時間をかけて「若い市民」を育成していきます。学校はそのための重要な機関といえます。産業も資源もなかった日本が先進国に発展したのはこの教育システムと無縁ではありません。ところが今、高校生を「若い市民」と見なしたとき物足りなさを感じたり、不安感を持ちたりするのはどうしてでしょうか。私たち大人は「若い市民」を育てることに失敗したのでしょうか。

高度情報化に代表されるグローバル化は人々の価値観を変えるよう迫ってきます。保護主義の復活だけで世界の諸問題が解決するとは思えません。そんな中で、日本でも自分の幸せだけを求めて個人が「保護主義」に走れば、それは集団の破綻に繋がってしまいます。目の前の試験や自分の利害については一生懸命になるけれど、国内や世界の諸問題については他人事のようにネットのニュースを眺め、むかついたらツイッターにぶつける。そして自分が多数派でいることに安心して、できるだけ反論を避け、いつかなんとかなることを待っている。高校生がそんな生徒ばかりになり、高等学校がそんな生徒を養成するようになっているとしたら……

進学校である本校において、生徒たちが日々勉学に励む姿は素晴らしいものです。文武両道を掲げる本校で様々な人間とふれあい、悩んだり傷ついたりしながら成長していくのはさらに素晴らしいことです。そして多種多様な経験が

平成29年度入試合格者数一覧表

	合格者数
国公立四大	70(10)
私立四大	451(23)
公立短大	7(0)
私立短大	23(0)
医療系専門学校	18(1)
その他の専門学校	23(0)
準大学	6

() 内は内数で過年度生数

個人の価値観や社会観を育てる芽になり、近い将来の「若い市民」の育成に役立ってくれば、こんな素晴らしいことはありません。進路指導の面においても、根底にあるのは加茂高生が未来を託せる「若い市民」になってくれることだ、ということをお忘れずにいたいと思います。

さて、昨年度本校では国公立大に70名が合格しました。可茂地区全体で、学力低下が見られる中、よく健闘してくれました。模試の判定では振るわなかった生徒たちも、学年団の先生方の確なアドバイスと後押しで最後までよくねばり、栄冠を勝ち取っていきました。加茂高のマンパワーを見る思いでした。そしてセンター特編でも二次特編でも、全員が最後まで集中して取り組み、早期に進路が決定した生徒を含めて充実した高校生生活を全うしてくれました。

生徒全員が本校で希望する進路をかなえ、「若い市民」として育ってくれるよう、最善を尽くします。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

220日

現代人の自由論述は
34年ほど前、おぼろげに
書きかいた後、改めて書き直し

0点に悩まされ、
家でいかに書きかいたか、やばいほど
その中間発表、全部特編め!

大学見学



名城大学

恒例となった大学見学会も多くの会員・保護者の皆様の参加により、名城大学(天白)と中京大学(名古屋)の二つの大学を見学しました。両大学は本校からの進学者も多く、名城大学では、在学生による学内紹介や学生目線での説明は、参加の皆様から大変なご感想をいただきました。中京大学では、ホテルの様な建物や雰囲気ビックリしながらも、大学の方針について詳しいお話を聞くことが出来ました。親子で行くオープンキャンパスも大切ですが、保護者だけの見学会という機会は、情報共有や保護者同士の会話もあり、大変有意義であると感じました。

ありがとうございました

(3) 学年委員長 村雲修

編集後記

正直、子どもの高校での様子にはあまり興味がなく、勉強さえきちんと理解していれば良いと思っていました。ですが、球技大会の取材に行き、得意な種目を全力でプレーする子や苦手だけどチームのために必死にプレーする子、それを一生懸命応援する姿などが見られてとても良かったです。

知ろうとしなければただ単に過ぎていってしまいますが、将来に大きく関わってくる高校時代をもっと子どもと一緒に楽しみ、悩んでいきたいと思いました。

家庭では見られない加茂高生の活発な姿を、広報を通じて皆さんに伝えていきたいと思います。

(広報部長 可児真由美)